

2022 年度第 7 回(2023 年第 5 回)理事会議事録

日 時:2023 年 8 月 26 日(土) 16:30~18:30

場 所:ホテルニューオータニ ガーデンコート宴会場階「アリエスの間」(WEB(ZOOM)形式)

現地出席者:宇野 隆(理事長)、溝脇 尚志(専務理事)、井垣 浩、石川 仁、内田 伸恵、大野 達也、小川 和彦、古平 毅、佐々木 良平、澁谷 景子、高橋 健夫、中村 和正(以上理事)、生島 仁史、塩山 善之、(以上監事)茂松 直之(第 36 回大会長)

角田 怜子、鈴木弘美、山内蓉子 (以上事務局)

[WEB 出席]:有賀 久哲、大西 洋、岡嶋 馨、村上 祐司(以上理事)、

欠席者:青山 英史、櫻井 英幸

(敬称略)

審議事項

1. 2023 年第 4 回理事会(2023/7/21) (溝脇専務理事)

前回(2023/7/21)理事会議事録案と、その後の進捗状況が確認され、承認がなされた。

2. 会員の入会他 (溝脇専務理事)

1)2023 年 7 月 8 日から 2023 年 8 月 15 日までの入会申請はなかった旨が報告され、承認された。

2)2023 年 8 月 15 日現在の会員登録状況について下記のとおり説明がなされた。

- 会員総数:4,323 名 [内訳_正会員 2,267 名、准会員 1,961 名、名誉会員 52 名、賛助会員 38 社、国際賛助会員 5 名]
- 退会者:10 名[正会員 5 名、准会員 5 名]
- 正会員内訳:医師 2,046 名 歯科医師 45 名 医師以外 176 名(医師比率 90.25%)
- 男女比率:正会員[男性 1,823 名、女性 444 名]、准会員(男性 1,502 名、女性 459 名)
- 専門医数:1,398 名(男性:1,134 名、女性:264 名)
- 会費納入率:当年度 正会員 93.69%、准会員 91.28%
- 8 月 15 日現在の 2 年分会費未納者リストが提示され、8 月末までに会費納入がない場合は定款 10 条の定めにより退会となるため旨確認された。

3. 新規等予算案の財務・総務委員会予備審査について (溝脇専務理事)

財務・総務委員会に申請があった 2023 年度(2023/9-2024/8)新規・再申請事業予算案について、財務・総務委員会での予備審査(第 4 回目)の結果が報告された。財務・総務委員会よりの留意事項等について委員会毎に検討し、次年度新規事業として進める旨が承認された。

- ① 放射線治療品質保証 Quality Indicator を用いた WEB 解析システム(医療安全委員会)
- ② 高精度放射線外部照射部会アンケート調査の委託契約について(高精度放射線外部照射部会)
- ③ RI 内用療法症例登録事業(DB 委員会/がん放射線治療推進委員会 RI 内用療法 WG)

4. 次年度(2023年度)事業計画・最終予算案 (溝脇専務理事)
前回理事会にて提案・承認された各事業予算と、前議題 2023 年度予算申請(第 4 回目)で承認された 3 つの新事業予算額と合わせた最終の予算(経常増減差額-16,660,0000 円)の承認がなされた。また各理事より提案された事項をまとめた 2023 年度の事業計画(全体案)が提示され、8 月末までに内閣府へ申請する旨承認がなされた。
5. 第 40 回学術大会長選挙管理委員会、公示案 (宇野理事長)
2027 年開催の第 40 回学術大会長の選挙公示案について、立候補締切は 2023 年 10 月 18 日とし、定款細則、学術大会長の選任規程に則り、11 月 30 日社員総会にて選挙、または推挙を行う予定であること、また、以下、選挙管理委員会委員 3 名を任命することが承認された。
委員長: 永田 靖会員(中国労災病院)
副委員: 今井 美智子会員(浜松医療センター)
委員: 白井 克幸会員(自治医科大)
6. 2023 年 JRR 誌優秀論文賞受賞者推薦 (佐々木理事)
前回理事会にて承認された JRR 誌優秀論文賞内規に基づき、2023 年 JRR 誌優秀論文賞を公募した結果、臨床/医学部門 3 編、物理部門 2 編の応募があり、編集委員会の審査に基づき以下、各部門 1 名計 2 名を推薦する旨説明され、承認がなされた。
(臨床/医学) 岸 徳子会員 論文名: Propensity score-based analysis of stereotactic body radiotherapy, lobectomy and sublobar resection for stage I non-small cell lung cancer.
(物理) 常峰 将吾会員 論文名: Tolerance levels of mass density for adaptive helical tomotherapy using MVCT.
また今回、申請に寺島賞との重複等があったため、次年度以降より公募要項を検討する旨確認された。
7. 2023 年度密封小線源治療安全取扱講習会の共催依頼 (佐々木理事)
日本アイソトープ協会より 2023 年度密封小線源治療安全取扱講習会「ヨウ素 125 シード線源による前立腺癌永久挿入密封小線源治療および高線量率ラルス医療安全取扱講習会」について共催依頼の申請があり、規程に基づき、渉外・関連学会委員会の予備審査資料が提示され、以前より共催を行っていた旨説明がされ、2023 年度の講習会についても共催する旨承認された。
8. 第三者出力線量評価認定制度・申請施設/機関の認定について (澁谷理事)
2023 年 7/12 締切の第 1 回第三者出力線量評価認定制度「認定施設」の申請について、36 施設を受付、当作業部会による 8/3 認定審査会議の結果、36 施設はすべての認定要件を満たすことが報告され、承認がなされた。また「出力線量評価機関」申請 1 機関についても、すべての認定要件を満たしている旨確認したことが報告され、承認がなされた。

9. 「放射線治療における第三者機関による出力線量評価に関するガイドライン 2019」の改定提案

(澁谷理事)

日本医学物理学会、日本放射線技術学会協力で作成された標題のガイドラインについて、第三者出力線量評価機関についての説明、認定事業の開始と暫定機関の記載削除、また新たに、認定制度規程におけるレベル分類の追加、「JASTRO 認定施設規程」、第三者等用語の定義も記載された「放射線治療における第三者機関による出力線量測定および評価に関するガイドライン 2023」案が QA 委員会/第三者出力線量評価認定作業部会により提案され、改定する旨承認がなされた。

10. 「第 8 回小児がん放射線治療セミナー」収支報告と補正予算申請(内田理事)

第 8 回小児がん放射線治療セミナーの実施報告[2023 年6月 17 日/橋本孝之世話人(北大)/ハイブリット開催/参加者:115名(現地参加:21 名)], 及び会計報告が示され、当初の見込みより参加者が少なく、会場開催に加えて LIVE 配信+オンデマンド配信の実施により費用がかかったため、補正予算(498,953 円)・追加補助の申請がなされ、承認された。

11. 生物部会の常任幹事、幹事の追加について(石川担当理事)

2023 年 6 月 23 日生物部会幹事会において、新部長(原田 浩部会員)、新常任幹事(石川 仁部会員、松本 義久部会員)、新幹事(尾池 貴洋部会員、戒田 篤志部会員、染谷 正則部会員、安井 博宣部会員)、新顧問幹事(長谷川 正俊部会員)の推薦、及び幹事の退任希望(茂松 直之部会員)、顧問幹事の退任・名誉部会員への推薦(近藤隆部会員)があり、承認がなされた。

12. 放射線治療専門医試験結果報告/放射線治療専門医資格更新・辞退について(古平理事)

● 放射線治療専門医資格更新者の追加承認・資格返上者

更新猶予中の 2 名について更新要件の充足を確認したことが報告され、承認された。資格返上申請のあった 7 名と、退会(ご逝去)に伴う 1 名の計 8 名の専門医資格喪失が承認された。また猶予期間中の計 4 名のリストが示され、説明がなされた。

● 放射線治療専門医資格更新申請の審査結果について

2023 年の更新申請における審査内容について、対象者 229 名のうち、更新者 218 名、猶予者 8 名、資格辞退 3 名であったことが説明され、承認された。

● 放射線治療専門医認定試験の結果について

第 32 回放射線治療専門医認定試験結果の概要について、応募者 62 名(欠席者 1 名含む)、受験者 61 名のうち、合格者 53 名、不合格者 8 名となり、合格率[合格者/受験者は 86.8%(合格者/申請者_欠席者含むは 85.5%)であったこと等が説明され、承認がなされた。

報告事項

1. 理事長・専務理事職務状況報告 (宇野理事長/溝脇専務理事)

現在までの業務状況・活動報告がなされた。

2. 財務・総務委員会報告:社員総会準備「代議員提案事項」実施/2022 年度決算見込み
(溝脇専務理事)
- 例年総会で実施の代議員からの意見提案・討論について9月7日より10月6日まで意見募集を実施する旨説明された。
 - 2022 年度決算見込み案が示され、前回理事会報告より大きく変動はないが、全体では2 百万程度黒字見込み、公益事業は赤字見込みである旨説明された。
3. 第36 回学術大会報告:プログラム準備状況 (茂松第36 回大会長)
最新のプログラム案が示され、準備を進めている旨報告された。
4. AIワーキング(WG) 事業進捗報告 (村上理事)
AI-WG 事業の進捗について報告された。
5. 教育委員会報告:物理学セミナー報告(内田理事)
「第11 回放射線治療物理学セミナー」開催について、実施報告[2023 年6 月24 日/世話人:磯辺智範会員/WEB 開催/、参加者 238 名)、及び、会計報告収支決算書が提示され報告がなされた。
6. 広報委員会報告:次年度の活動等 (岡嶋理事)
次年度広報委員会事業の各事業毎の課題、進捗等について、2023/7/27~8/4 広報委員会でのメール意見募集を行った結果が報告された。また特定資金:放射線治療 PR 事業について、日本工学院漫画と共同で漫画コンテストを実施中で、8/30 まで一次審査「ネーム審査」を実施している旨報告された。
7. 施設認定委員会報告:2023 年施設認定申請受付状況 (小川理事)
2023 年認定施設申請状況について、更新対象 54 施設(更新 49、猶予申請 4、辞退 1)/猶予中施設 6 施設(更新 4、確認中 1、辞退 1)、新規申請 11 施設であった旨報告された。例年通り、12 月までに、審査を実施する旨報告された。
8. 医療安全委員会報告:「AAPM TG 275(和訳本)」原稿案 (小川理事)
「The American Association of Physicists in Medicine(AAPT) TG 275」の冊子体印刷・配布について2023 年度予算として前回理事会にて承認されたが、最終校正原稿が回覧され、JASTRO からの資金において印刷した旨、裏表紙等へ追記が必要であることが確認された。
9. 高精度部会報告:第36 回学術大会他 (大西理事/宇野理事長)
- 「第2 回日本 MR 画像誘導適応放射線治療研究会」(高精度部会分科会)について、実施報告 [2023 年7 月1 日/会場開催(TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台)/世話人:神宮 啓一会員(東北大)/参加者 103 名(学生・研修医・招待含む)]及び会計収支報告がなされ、費用について、計画通り特定

費用準備金より支出する旨報告された。

- 「第 36 回高精度放射線外部照射部会学術大会」開催について、実施報告[2023 年 3 月 3～4 日/世話人:秋元哲夫会員/ハイブリット開催: 柏の葉カンファレンスセ+東京大学会議室+Live 配信/参加数 635 名] 及び 会計報告がなされた。
- 「第 7 回高橋信次記念シンポジウム」について、上記第 36 回高精度部会学術大会と同時開催され、開催及び会計報告がなされ、費用について、計画通り特定費用準備金より支出する旨報告された。

10. 小線源治療部会報告:第 25 回学術大会開催報告 (櫻井理事 代: 生島部会長(監事))
「小線源治療部会第 25 回学術大会」について、実施報告[2023 年 5 月 19～20 日/世話人:辻野佳世子会員/現地:神戸国際会議場/参加者 407 名(うち有料 314 名)]及び会計報告がなされた。

11. 生物部会報告:第 60 回生物部会学術大会開催等報告 (石川担当理事)
- 「第 60 回生物部会学術大会・第 51 回放射線による制癌シンポジウム」について、実施報告[2023 年 6 月 23-24 日/世話人:原田浩会員/ハイブリット開催: 京都府立京都学・歴史館/参加人数 135 名(有料参加者 111 名・招待 24 名)]及び 会計報告がなされた。
 - 同日 6 月 23 日開催の生物部会幹事会についての報告がなされた。[生物部会賞: 下川卓志(量研機構)/2025 年生物部会大会長: 石川仁会員/2025 年第 15 回放射線生物学セ世話人: 松本義久 会員]

12. がん放射線治療推進委員会報告 (石川理事)
- 2023 年 8 月 7 日開催した委員会(WEB)について、各小委員会の進捗状況等資料が提示され報告がなされた。

13. 厚労科研細野班報告 (高橋理事)
- 厚労科研細野班について、令和 5 年度「分担研究:放射線治療における放射線防護に関する研究」を進めており、今年度研究課題として、RALS 室 CT の単独使用運用手順書案、放射線治療における位置照合撮影線量の実態調査、被ばく線量管理の方策についての検討を進めている旨報告された。

14. 文科省訪問についての進捗 (大西理事 代)石川理事/高橋理事)
- コアカリキュラムに対する各大学の放射線治療教育を充実させる対策について、前回理事会にて文科省、JACME(日本医学教育評価機構)との面談、各大学への周知資料の作成を行う案が提案されたが、関係者に相談の結果、まずは当会にて教育に必要な資料案を作成する方向が確認され、各大学宛に送付するがん放治推進委員会作成の資料案(スライド)が提案され、引き続き準備を進める旨が確認された。

